

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	(介保)総合相談事業	会計名称	介護保険特別会計		担当課	長寿介護課	
		予算科目	3 款 3 項 1 目	事業番号	8115	所属長名	野間美幸
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	福積秀子	
法令根拠等	介護保険法				実施期間	【開始】	令和/平成 18 年度
総合計画での位置付け	健康福祉都市の創造 健やかで生きがいの持てる高齢者福祉の実践					【終了】	令和 年度(予定) ■ 設定なし
総合計画における本事業の役割	総合計画の政策を達成するために事務事業の役割を理解し、有効性等により事業の実施を行う。						
事業の対象	65歳以上の高齢者	事業の目的		高齢者が住みなれた地域において安心した生活を継続するための支援策について検討し、地域における適切なサービス、関係機関及び社会資源等の利用につなげるための支援を行う。			
事業の内容 (整備内容)	地域におけるネットワークの構築 総合相談支援	昨年度の課題に対する具体的な改善策					

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	3年度予定	9月末の実績	3年度実績
直接事業費	2,990	3,484	0	0	0	3,117	総合相談件数 (ランチ)	件	772	800	400	909
財源内訳												
国庫支出金	1,151	1,341	0	0	0	1,200						
県支出金	575	671	0	0	0	600						
地方債		0	0	0	0	0						
その他	1,264	1,472	0	0	0	1,317	総合相談件数 (包括支援センター)	件	1237	1300	600	1628
一般財源	0	0	0	0	0	0						
職員の人工 (にんく) 数	0.20	0.20				0.20						
1人工当たりの人件費単価	7,812	7,841				7,841						
※ 直接事業費+人件費	4,552	5,052				4,685						
主な実施主体	直接実施		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		一部補助金							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	5年間の合計		
					3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	17,500		
成果指標	指標	地域包括支援センターとランチ (2箇所) それぞれの総合相談件数の総数を指標とする。			⇒	区分年度	前年度	3年度	4年度	目標 毎年度		
	指標設定の考え方	総合相談件数は、高齢者の不安軽減・解消につながるものであるため、相談件数の総数を成果とする。				目標	2500	2500	2800	2800		
	指標で表せない効果	伊予・中山・双海地域に総合相談窓口を設置することで、地域住民の安心感を得る。				実績	2009	2537				

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		高齢者の身近な相談窓口としての機能を果たしている。										
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	地域において、伊予市地域包括支援センターの認知も広がり、また相談対応については各ブランチとの連携も図られており、総合相談窓口としての機能を果たしている。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4					
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B			相談内容が複雑で、幅広い内容となっている。関係機関とのネットワークの構築が必要である。
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B				
		コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の方向性 所屬長の課題認識	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 高齢者の安心した生活に身近な相談窓口は必要である。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4					
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A				
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4						
		施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4						
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B					
	コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3							
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3							

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	